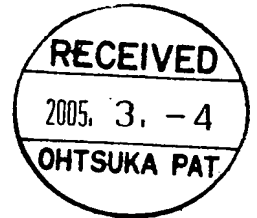


拒絶理由通知書



特許出願の番号	特願2000-221128
起案日	平成17年 2月28日
特許庁審査官	山下 剛史 8946 5C00
特許出願人代理人	大塚 康德 (外 4名) 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の請求項1-15に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

1. 特開平6-236197号公報
2. 特開平8-171400号公報

上記引用例1の特に「文音声から切り出された種々のユニットパターン（注：音声素片に相当）…を予め作成したコードブック等によってベクトル量子化（注：符号化工程に相当）したユニットパターンがデータベース化して記憶（注：音声素片辞書に格納することに相当）されている」（段落28）という記載を参照すると、請求項5-6、12-13に係る発明は、上記引用例1に記載された発明に基づいて、当業者が容易に発明できたものである。

上記請求項以外の請求項に係る発明については、上記引用例に記載された発明において、符号化工程（ベクトル量子化）の部分に、当該分野における周知の符号化技術（例えば、上記引用例2に記載されるような複数の符号化手段の選択を符号化歪みに基づいて行うもの）を用いることにより、当業者が容易に発明できたものである。

この拒絶理由通知の内容に関する問い合わせ、面接希望、補正案等がありましたら、下記までご連絡下さい。

